

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 20号)

2025年 4月 9日発行
兵庫のり研究所

海域全般に小型珪藻のスケルトネマが確認され、二見漁場以西で多く確認されます。窒素は、陸水の影響が見られる岸寄りで $3 \mu\text{g at/L}$ 以上、大阪湾の海水の影響が見られる海域東部(水温 $11.6 \sim 12.0^\circ\text{C}$)で概ね $2 \mu\text{g at/L}$ 前後、その他の地点では $1 \mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均 11.4°C (平年比 0.4°C 、昨年比 0.2°C ともに低い)。(塩分) 平均 32.31psu 。前回 (31.94) より 0.37psu 高い。
(珪藻) 海域全般に小型珪藻のスケルトネマが確認されました。大阪湾の海水の影響が見られる海域東部(水温 $11.6 \sim 12.0^\circ\text{C}$)でのスケルトネマ発生量は前回同様に少なく、西部海域海水の影響が見られる所(水温 $10.3 \sim 11.2^\circ\text{C}$)ではスケルトネマは多く確認されたが、 $400 \sim 2,400$ 細胞/mlと前回(4/2)調査と比較して減少していた。また、海域西部では小型珪藻のキートセロス、タラシオシラ等の小型珪藻が確認されたほか、高砂沖では大型珪藻のコシノディスカス($10 \sim 25$ 細胞/L)も確認された。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.1	11.4	11.8	11.6
窒素	3.4	2.6	3.3	3.8
リン	0.37	0.28	0.28	0.38

(4/2)

(4/10)

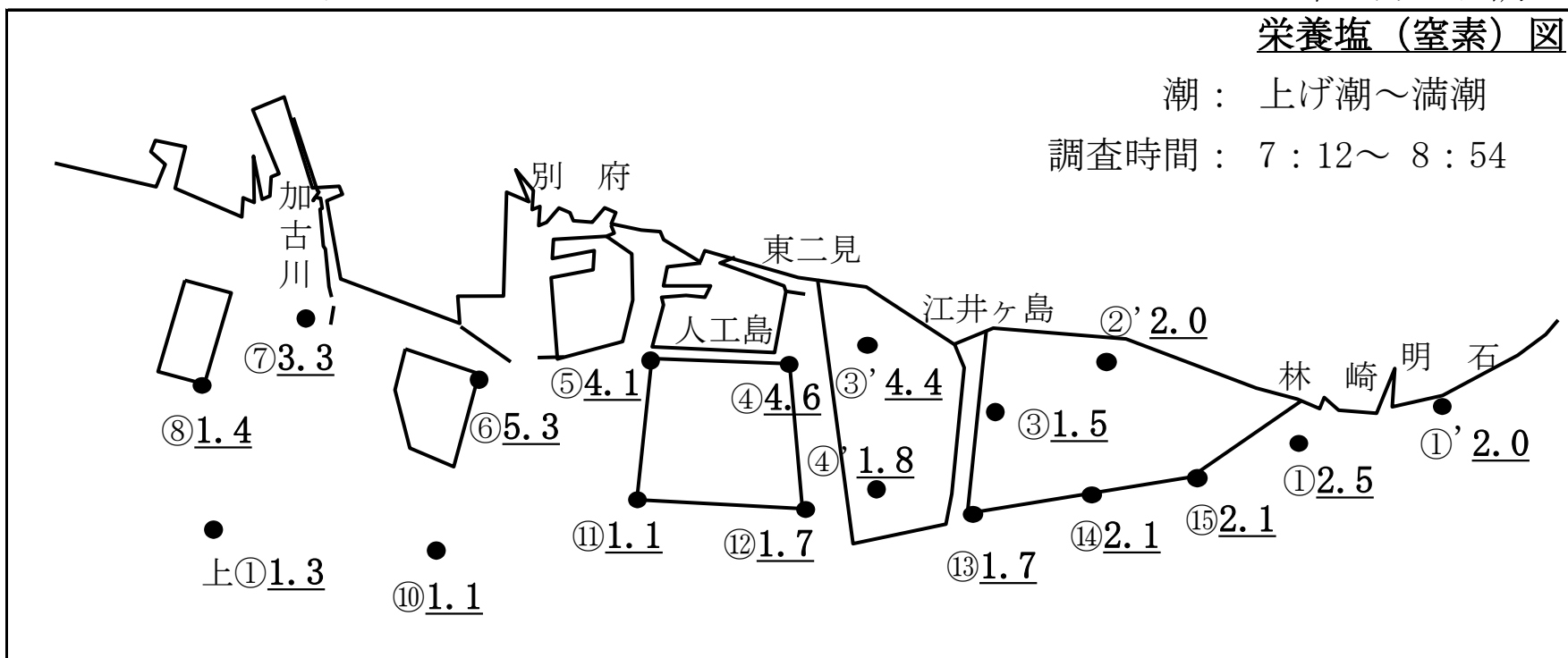
※窒素の平均は別府を除く。

2025年 4月 9日調査

栄養塩(窒素) 図

潮： 上げ潮～満潮

調査時間： 7:12～8:54



水温図

